

# 令和4年度 事業報告書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

## I. 概要

令和4年度の日本経済は、脱コロナ・ウィズコロナ政策への転換が欧米に比べて出遅れ、ロシアへの経済制裁の影響もあって個人消費の回復が鈍化することとなった。夏季のコロナ感染の第8波が収束してウィズコロナに移行し、民需中心の設備投資の堅調さも下支えとなり個人消費は持ち直したが、世界的な物価上昇と円安方向への為替変動、中国の強硬なゼロコロナ施策の発動など、想定外の混乱する展開となった。

建設産業においても、ロシアのウクライナ侵攻が引き続くことによるエネルギー関連価格の高騰や、円安を主な要因とする資材価格の上昇が依然悪材料として存在し続けている。生コンクリートの出荷量も前年比2.5%減の7,476万m<sup>3</sup>と4年連続過去最低を更新した。

技能者の高齢化と若い担い手の不足も急速に進んでおり、中小零細の建設業においては従業員退職型の人手不足倒産が増えつつある。この傾向はコンクリート圧送業界においても散見されるようになり、建設業の先行きに大きな影を落としていると言える。

このような厳しい環境の中、全圧連会員の圧送業者は、各社とも経営の維持と圧送技能者の処遇改善のため、適正な受注金額の確保に懸命な努力を続けている。自然災害の多いわが国の国土の減災・防災を担うコンクリート構造物の施工という重要な役割を果たすべく、担い手を確保・育成し、業界が持続的に発展し続けて行けるために、技能労働者の処遇改善と作業環境の改善に努めていかなければならない。本年度末に国土交通省の有識者会議「持続可能な建設業に向けた環境整備検討会」が発した提言が、これからの専門工事業が推進すべき施策の骨格となるであろう。

全圧連は、令和4年度も単協の協力のもと、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めるべく、リモートを併用した事業スタイルを継続した。労働災害防止と技術・技能の向上を推進するための全国統一安全・技術講習会を始めとする各種教育のリモート化を続けたほか、建専連加盟の専門工事業団体と連携し、技能者の技能レベル別の最低年収の公表による元請団体への適正労務費收受のための交渉、時間外労働の上限規制に向けた行政への要望、建設キャリアアップシステムの技能者登録料・レベル判定手数料の全額補助事業、コンクリート圧送工事業の施工能力の見える化評価基準の策定などの事業に取り組んだ年であった。

## Ⅱ. 本部事業

### 1. 諸会合の開催

#### (1) 総会

前年度事業報告および決算承認、本年度事業計画書（案）および予算（案）の承認報告のための通常総会を開催した。

第 11 回通常総会 … 4. 5. 26 アルカディア市ヶ谷（私学会館）（東京）

議事：①令和 3 年度事業報告および同収支決算報告の承認について

②令和 4 年度事業計画（案）および同収支予算（案）の承認の報告について

#### (2) 理事会および代表者会議

全圧連の主要な事業活動・運営に関する意思決定を行う定例の理事会を 1 回、それぞれリモート会議を併設して実施した。

第 31 回理事会・代表者会議 … 4. 4. 20 AP 品川アネックス（東京）および

ZOOM によるリモート会議

議事：①令和 3 年度事業報告および収支決算報告について

②令和 4 年度事業計画(案)および予算(案)について

③建設キャリアアップシステムへの登録等に関する新たな助成制度への対応について

④「専門工事企業の施工能力等の見える化」評価基準の認定申請に伴う評価シミュレーションの実施について

⑤技能レベル別最低賃金の策定と標準請負単価に関する動きについて

⑥旅費規程の改定について

⑦総会表彰者の選考について

⑧第 11 回通常総会について

⑨単協状況報告、意見交換、その他

第 32 回理事会 … 4. 10. 20 AP 東京八重洲（東京）および ZOOM によるリモート会議

議事：正会員への入会申込みについて

第 32 回代表者会議 … 4. 10. 20 AP 東京八重洲（東京）および ZOOM によるリモート会議

議事：①令和 4 年度上期の事業報告および収支決算報告について

②業種ごとの技能レベル別最低年収目安の公表と今後の活動について

③令和 5 年度の建設マスター等候補者の選出地区について

④近畿単協の先行材圧送実験への寄付および先行材に関するアンケートへのご協力について

⑤建専連全国大会・設立 20 周年式典への参加について（11/18）

⑥次回理事会・代表者会議（1 月）の設営と開催方法について

⑦単協状況報告、意見交換、その他

第 33 回代表者会議 … 5. 1. 26 AP 品川（東京）および ZOOM によるリモート会議

議事：①令和 5 年度事業計画案および収支予算案について

②コンクリート圧送工事業の見える化評価基準の国交省への認定申請について

③令和 5 年度の表彰者選考について

- ④基幹技能者 登録講習実施期機関の登録更新について
- ⑤福祉共済制度 配当金報告と加入促進について
- ⑥全圧連ホームページへの広告バナー掲載について
- ⑦役員改選に伴う理事・監事定数配分案について
- ⑧次回理事会・代表者会議および通常総会の開催要領について
- ⑨単協状況報告、意見交換、その他

### (3) 常務会

会長・副会長・専務理事・常務理事で構成する常務会（役員会）を6回開催、事業執行に係る事案につき審議を行った。

- ① 4年度第1回 … 4. 4. 14 ZOOMによるリモート会議
- ② 4年度第2回 … 4. 6. 13 //
- ③ 臨時常務会(第1回) … 4. 7. 25 //
- ④ 臨時常務会(第2回) … 4. 8. 12 //
- ⑤ 4年度第3回 … 4. 12. 17 //
- ⑥ 4年度第4回 … 5. 1. 26 AP品川（東京）

### (4) 監事会

- 3年度期末決算指導・監査 … 4. 4. 8 全圧連会議室およびZOOMによるリモート会議
- 4年度中間決算指導・監査 … 4. 10. 7 全圧連会議室およびZOOMによるリモート会議

## III. 委員会事業等

### 1. 経営委員会

#### (1) 経営革新および経営の戦略化のための事業

- 1) ブランディング事業の一環として、トミーテック(株)のコンクリートポンプ車模型の会員向け限定パッケージ2,657台を販売した(3月実施だが今期予算事業)。
- 2) 令和3年度の経営実態調査を実施(4月～)。今回の調査は回答率49.9%と半数をわずかに下回る会員企業から調査回答を得た。報告書を会員ならびに関係先へ配布するとともにホームページに掲載。業界紙へプレスリリースを行った(11月)。

#### (2) 取引価格の適正化に向けた事業

- 1) 建専連がダンピング抑止対策として掲げる技能者のレベル別の最低年収を策定し、理事会にて承認可決を行った(4月)。10月に建専連より公表し、建専連役員と日建連との間で意見交換を行った(10月)。以降、建専連と連携し、元請団体に向けて最低年収を担保する請負単価の確保に向けた活動を推進して行く。

#### (3) 生産性向上、作業環境および労働条件の改善、福利厚生に関する事業

- 1) 回送時間を要するコンクリート圧送業の長時間労働の規制緩和に向け、(一社)全国クレーン建設業協会と連携し、建専連と国土交通省本省幹部との意見交換会において要望意見発表を行った(8月)。また、厚生労働省労働基準局労働条件政策課と国交省、建専連、全国クレーン建設業協会、全圧連を交えた時間外労働の上限規制の課題に関するヒアリングに参加した(11月)。
- 2) 建設キャリアアップシステムの登録推進に資するべく、技能者登録料とレベル判定手数料の全額補助を開始し、会員へ利用依頼を周知した(厚生労働省の助成制度を活用)。
- 3) 建設キャリアアップシステムを活用した「コンクリート圧送工事業の施工能力の見える

化」の、圧送業における独自評価基準案を策定し、会員に向け評価シミュレーションを実施。理事会承認を経て国土交通省に申請し、大臣認可を得た（3月）。

- 4) すべての企業に対応が義務付けされた「育児・介護休業法およびパワハラ防止法に関する研修会」をウェブ中継併設で開催。研修会終了後も会員に対しYouTubeによる限定公開を継続した（8月）。
- 5) 全圧連福祉共済制度を推進。3/1 現在、加入率 32.5%となっている。（※加入状況は「全圧連福祉共済加入状況表」を参照）。
- 6) 「安全運転・法令を守ってコンクリートポンプ車の交通事故を防ごう!!」と題した、「2023年版全圧連事故防止カレンダー」を作成。企業名印刷を募集し、4,190部を発注した。

#### (4) 全圧連組織の拡大・活性化に関する事業

- 1) 四国地域の組織拡大に関する情報交換を行った。

#### (5) 事業推進のための会議の開催

委員会を2回、幹事会を1回開催するほか、研修セミナーを2回開催した。

- 1) 第65回経営委員会 … 4. 8. 2 AP 東京八重洲（東京）および  
ZOOMによるリモート会議

議事：①経営委員会事業計画について

②建設キャリアアップシステムへの技能者登録料・レベル判定手数料の補助の実施について

③アルコールチェッカー検査義務化の延期について

④経営実態調査の中間報告について

⑤業種ごとのレベル別最低年収公表と標準請負単価〔参考値〕について

⑥コンクリート圧送業における「施工能力の見える化」シミュレーション結果報告と評価基準の認定について

⑦圧送料金原価の積算ツールの作成について

⑧2023年事故防止カレンダーについて

⑨福祉共済制度の加入促進について

⑩意見交換、その他

- 2) 第66回経営委員会 … 5. 3. 1 AP 東京八重洲（東京）および  
ZOOMによるリモート会議

議事：①新年度の公共事業設計労務単価の発表と各種社会保険料率（法定福利費）の改定について

②業種ごとのレベル別最低年収の公表について

③コンクリート圧送業における「施工能力の見える化」評価基準の申請と今後の評価実施について

④時間外労働の上限規制に関する対応と残業割増賃率の改定について

⑤新年度の経営実態調査の実施について

⑥福祉共済制度の加入促進について

⑦新年度事業計画案について

⑧全圧連名簿の発刊について

⑨意見交換、その他

- 3) 研修セミナー

①育児・介護休業法改正・パワハラ防止法施行の対応に関する研修セミナー

… 4. 8. 2 AP 東京八重洲（東京）およびウェブ中継

講師：特定社会保険労務士 池田千賀氏

②大型車タイヤの安全管理に関する研修セミナー

… 5. 3. 1 AP 東京八重洲（東京）およびウェブ中継

講師：ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株) 永井洋平氏

4) 経営委員会幹事会

第78回会議 … 5. 2. 7 AP 東京八重洲（東京）

議事：施工能力の見える化評価基準、時間外労働の上限規制への対応、  
次年度経営実態調査、福祉共済制度の加入促進、策新年度事業計画、他

## 2. 技術委員会

### (1) 安全施工・労働災害防止および技術・技能向上のための事業

- 1) 令和4年度の全国統一・安全技術講習会を、以下のカリキュラムにて全国の単協との共催により開催。

本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合講習だけでなく各社で講習受講が可能なビデオ資料と事務手続きの各種書類を作成した。

修了会員企業には修了証明書（企業用およびポンプ車搭載用）を発行し、ヘルメット貼付用の修了シールの配布を行っている。

23単協にて開催、383社・4,214名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。

#### [令和4年度 全国統一安全・技術講習会 統一カリキュラム]

①コンクリートの基礎知識

②コンクリート圧送工事における災害事故報告 2021

- 2) 安衛法関係法令に定めるコンクリートポンプ車特別教育を、全国の単協との共催により開催。修了者には修了証を発行している。

21単協にて開催、会員143社・317名、員外53社・113名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。

- 3) 労働基準局通達に基づく特別教育再教育を、昨年度より「コンクリートポンプ作業従事者危険再認識教育」と名称を変更し、全国の単協との共催により開催。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合講習だけでなく各社で講習受講が可能なビデオ資料と事務手続きの各種書類を作成している。

#### [令和2年度～4年度 コンクリートポンプ作業従事者危険再認識教育カリキュラム]

コンクリートポンプ車の公道走行

修了者には修了証を更新し発行している。

8単協にて開催、105社・371名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。

- 4) 安衛法関係法令に定める足場の組立て等の業務に係る特別教育を、継続して全国の単協との共催により開催した。修了者には全圧連より修了証を発行している。

13単協にて開催、73社・140名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。

- 5) 安衛法関係法令に定めるフルハーネス（墜落制止用器具）の特別教育を、継続して全国の単協との共催により開催した。15単協にて開催、108社・251名が修了している（※開催状

況は「講習会受講者内訳表」を参照)。

- 6) コンクリートポンプ特別教育用教材のベトナム語翻訳版を作成し、各単協での活用を依頼している。
- 7) 足場の組立て等の業務に係る特別教育の講師用パワーポイントを作成し、各単協での活用を依頼した。
- 8) 雇入れ教育およびコンクリートポンプ車特別教育の実技教育カリキュラムの作成に着手した。
- 9) 災害事故に関する情報収集に努め、事故報告書を都度配信した。

## (2) 圧送施工に関する調査研究・研修・広報事業

- 1) 建設キャリアアップシステムにおけるコンクリート圧送技能者の技能レベル判定を実施している。
- 2) 技術委員会において、技術委員に対する本年度の「安全・技術講習会」および「コンクリートポンプ作業従事者危険再認識教育」の講師研修を実施した(7月)。
- 3) ホッパ内の残コンクリート改良剤「TERA(テラ)」の委託販売を継続実施した。
- 4) 先送りモルタルに代わる先行材の使用の実態に関するアンケート調査を実施、132社からの回答を得た(10~12月、近畿単協と連携)。

## (3) 関係諸機関との連携協力

- 1) 日本建設機械工業会(建機工)……ポンプ車の安全対策・事故情報に関する情報交換を行っている。
- 2) 建設荷役車両安全技術協会(建荷協)……事業内検査者研修および能力向上教育の定期的な開催を要望するほか、特自検有資格者の能力向上と資格取得PRに協力している。
- 3) 日本建築学会…各種工事仕様書の改訂講習会に協賛を行っている。
- 4) 土木学会…中流動コンクリートの配合設計・施工指針策定の委員会へ参画している。

締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・製造・施工に関する研究小委員会  
全圧連選出委員：田中徹(神奈川、(株)横浜協立) (敬称略)

- 5) 日本コンクリート工学会(JCI)…「コンクリート圧送工法指針原案作成委員会」に参画し、『コンクリート圧送工法施工指針2023』の発刊に協力した。

コンクリート圧送工法指針原案作成委員会

全圧連選出委員：吉田兼治(山形、(株)ヤマコン)、北口延郎(全圧連) (敬称略)

第14回幹事会 … 4. 6. 21 ZOOMによるリモート会議

第9回WG1会議 … 4. 8. 31 //

第11回WG2会議 … 4. 9. 2 //

第15回幹事会 … 4. 9. 30 //

第6回全体会議 … 4. 9. 30 //

指針発刊講習会 … 5. 3. 15 日本大学理工学部駿河台校舎(ウェブ併設)

- 6) 中央職業能力開発協会(能開協)…コンクリート圧送施工技能検定の試験問題作成を担当する中央技能検定委員の全圧連からの業界委員として以下の4名を推薦し選出している。

中央技能検定委員

① コンクリート圧送施工1級・2級

吉田兼治(山形、(株)ヤマコン) 庭野祐逸(埼玉、(有)三進圧送)

- 山口次郎（神奈川、(株)北斗工業） 堀之内正樹（東海、(株)タニケン）  
 ② コンクリート圧送施工基礎級  
 吉田兼治（山形、(株)ヤマコン） 山口次郎（神奈川、(株)北斗工業）  
 （敬称略、順不同）

[1級・2級]

- 第1回委員会 … 4. 4. 26 中央職業能力開発協会およびリモート併設  
 第2回委員会 … 4. 5. 18 //  
 第3回委員会 … 4. 6. 29 //  
 第4回委員会 … 4. 7. 14 //  
 第5回委員会 … 4. 8. 23 //  
 第6回委員会 … 4. 9. 14 //

[基礎級]

- 第1回委員会 … 4. 5. 26 中央職業能力開発協会およびリモート併設  
 第2回委員会 … 4. 6. 16 //  
 第3回委員会 … 4. 6. 22 //

(4) 会議の開催

2回の委員会および5回の幹事会を開催したほか、現場・実験視察を2回実施した。

- 1) 第71回技術委員会 … 4. 7. 5 AP品川（東京）およびZOOMによるリモート会議  
 議事：①技術委員会事業計画について  
 ②本年度の登録基幹技能者講習・試験について  
 ③本年度の技能検定の日程について  
 ④特殊車両の新たな通行制度の創設について  
 ⑤建設キャリアアップシステムへの技能者登録料・レベル判定手数料の補助について  
 ⑥令和4年度全国統一安全・技術講習会カリキュラムについて  
 ⑦フルハーネス特別教育・講師用パワーポイント（建災防）の活用について  
 ⑧第2回全国圧送技術大会について  
 ⑨今後の委員会スケジュールについて、意見交換、その他
- 2) 第72回技術委員会 … 4. 11. 15 AP東京八重洲（東京）およびZOOMによるリモート会議  
 議事：①登録コンクリート圧送基幹技能者講習・試験報告  
 ②特定技能外国人 業種区分の再編について  
 ③技能検定過去問題集 2022年度版の発刊について  
 ④足場の特別教育 講習用資料の作成と活用について  
 ⑤コンクリートポンプ特別教育 実技教育カリキュラムの作成について  
 ⑥雇入れ時教育の教材作成検討について  
 ⑦先行材に関する圧送実験およびアンケートについて  
 ⑧次年度の安全・技術講習会および危険再認識教育の講習テーマについて  
 ⑨第2回全国圧送技術大会について  
 ⑩技術委員会人事について  
 ⑪意見交換、その他
- 3) 技術委員会幹事会  
 第72回会議 … 4. 4. 12 ホテルマイステイズ新浦安コンファレンスセンター（千葉）  
 議事：新年度事業計画、基幹技能者認定委員の補充、安全・技術講習会カリキュラム  
 他

第73回会議 … 4. 6. 8 AP品川（東京）

議事：登録基幹技能者講習および安全・技術講習会カリキュラム、建設キャリアアップ登録・レベル判定に関する助成事業実施、土木学会暑中コン指針委員会への参加、技能検定過去問題集の発刊、事故防止カレンダー作成、他

第74回会議 … 4. 9. 15 AP東京八重洲（東京）

議事：足場の特別教育講習用資料の作成、ポンプ特別教育実技教育カリキュラムの作成、技能検定過去問題集の作成、近圧協フィールド実験への協力と視察、諸外国における職種紹介講師の養成、他

臨時幹事会 … 4. 10. 25 神戸三宮東急REIホテル（兵庫）

議事：先端ホース取付けのコンクリートこぼれ防止器具への対応、足場・フルハーネス特別教育のeラーニング化の問題点、雇入れ教育・ポンプ特別教育実技教育カリキュラムの作成、他

第75回会議 … 5. 2. 8 AP東京八重洲（東京）

議事：新年度事業計画、次年度の安全・技術講習会および危険再認識教育の内容、雇入れ時教育の教材作成について、先行材アンケート報告、第2回全国圧送技術大会、JCIコンクリート圧送指針2023講習会、他

4) 現場・実験視察

①国土交通省生産性向上プロジェクト「PRISM」～IoTポンプ車による

施工現場視察… 4. 4. 13 国道357号塩浜立体山側下部工事（千葉）

②日本建築学会近畿支部材料・施工部会および近畿生コンクリート圧送協同組合による各種先行材の圧送フィールド実験… 4. 10. 25～26（株）サンコー（兵庫）

3. 登録コンクリート圧送基幹技能者の育成

1) 令和4年度の登録コンクリート圧送基幹技能者登録講習・試験を8/27～30にCIVI研修センター秋葉原（東京）で実施した。

受講・受験申込者数：62名 実際の受講・受験者数：55名

合格者：44名 合格率：71.0%（対申込者数）

2) 令和4年度の登録コンクリート圧送基幹技能者更新講習を、インターネットによる通信教育で実施し、199名が受講。試験で合格基準点に達しなかった受講者には、課題を送付した。

①ビデオ講習 4. 9. 3～4. 9. 22 講師：中田善久（日本大学）

②試験 4. 9. 3～4. 9. 22 （期間中に1回受験）

③ビデオ補講 4. 9. 23～4. 10. 2 講師：鈴木澄江（工学院大学）

（敬称略）

3) 登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会を5回、幹事会を1回開催し、登録講習および更新講習ビデオの作成、講習運営方法、試験問題の作成などに関する審議を行った。

登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会

委員長： 柳井修司（鹿島建設株）

副委員長： 中田善久（日本大学）

委員： 鈴木澄江（工学院大学）、陣内浩（東京工芸大学）

南浩輔（前田建設工業株）、池田周五（プツマイスタージャパン株）、

田中徹（全圧連）、高野博（全圧連）

顧問： 十河茂幸（近未来コンクリート研究会）、和美廣喜（島根大学）

栗田守朗（清水建設株）

（敬称略、順不同）

① 第1回 … 4. 5. 21 日本大学理工学部

- ② 第2回 … 4. 6. 18                    //
- ③ 第3回 … 4. 7. 23    日本大学理工学部および ZOOM によるリモート会議
- ④ 幹事会 … 4. 8. 8    日本大学理工学部
- ⑤ 第4回 … 4. 9. 9    日本大学理工学部および ZOOM によるリモート会議
- ⑥ 第5回 … 5. 2. 15    日本大学理工学部

4) 登録基幹技能者制度を運営する専門工事業団体で組織する「登録基幹技能者制度推進協議会」に参画している。

- ・総会 … 4. 6. 17    ZOOM によるリモート会議

#### 4. 優秀技能者等の表彰

- 1) 全圧連表彰規定に基づく優秀従業員等表彰を授与した（5月）。
  - ① 優秀従業員表彰 5名
  - ② 優良従業員表彰 2名
  - ③ 特別表彰（建設マスターおよびジュニアマスター候補者） 5名
  - ④ 役員および職員表彰 2名
  
- 2) 令和4年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）候補者4名、優秀青年施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）候補者2名を国土交通省に推薦。全員の受賞が決定し、顕彰式典が行われた（10月、よみうりホール（東京））。
  - ① 建設マスター受賞者 4名
 

新本英雄	(株)小鍛冶組（北海道）	
矢口茂巳	(株)最上機工（山形）	
安藤嘉男	(有)安藤工務店（九州）	
畑中貴文	富士圧送(株)（九州）	（敬称略、順不同）
  - ② 建設ジュニアマスター受賞者 2名
 

田中雄介	帯広コンクリートポンプ(株)（北海道）	
守田竜太	(株)群馬圧送（群馬）	（敬称略、順不同）

#### 5. 広報活動の推進

- 1) 全圧連ホームページによる会員および対外関係先への情報発信、PRを行った。ブランディング事業の一環として、全圧連ホームページの会員名簿に会員企業のポンプ車のカラーリングを掲載している。
- 2) 「圧送業界特集」を業界新聞に掲載、業界の活動成果とコンクリート圧送工事業の課題についてPRを行った。

#### 6. 関係官公庁・学会・団体との連携協力

##### 1) 国土交通省

各種施策に関する周知・調査協力、情報配信のほか、技能者の処遇改善に向けた施策を業種横断的に協議する「建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会」、建設キャリアアップシステムを活用した技能者の「レベル判定システム」を行う「建設技能者能力評価制度推進協議会」に参画している。

- ①建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会 … 4. 6. 15    Teams によるリモート会議
- ②建専連との意見交換会 … 4. 8. 3    ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京）
- ③建設分野特定技能協議会 … 4. 9. 16    Teams によるリモート会議
- ④建設技能者制度能力評価推進協議会 事前 WEB 説明会  
… 5. 3. 13    Teams によるリモート会議

## 2) 厚生労働省・労働局

雇用調整助成金などの助成制度、熱中症・労働災害防止策等の周知・情報配信に努めるとともに、「人材確保等支援助成金」を受給申請し、圧送従事者の確保・育成、建設キャリアアップシステムへの登録推進に資する事業活動に活用するほか、登録基幹技能者の登録講習受講者に対して、同助成金の受給のための事務手続き支援を行っている。

時間外労働規制に関するヒアリング … 4. 11. 22 建専連（東京）

## 3) 経済産業省・中小企業庁・全国中小企業団体中央会

各種中小企業向け支援策の情報収集、周知・提供を行った。

## 4) 建設産業専門団体連合会（建専連）

役員団体として理事会、企画委員会、総務部会などへ参加し、業種横断的な専門工事業界の諸課題改善に向けた活動に参画、各種調査に協力している。

### ①総会

・通常総会 … 4. 6. 16 ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京）

### ②全国大会・設立20周年記念式典 … 4. 11. 18 ニッショーホール（東京）

### ③理事会

・第1回 … 4. 5. 24 建設業振興基金（東京・リモート会議併設）

・第2回 … 4. 9. 14 //

・第3回 … 4. 12. 14 //

・第4回 … 5. 3. 23 大阪建団連会館（大阪）

### ④企画委員会

・第1回 … 4. 5. 24 建設業振興基金（東京・リモート会議併設）

・第2回 … 4. 9. 12 //

・第3回 … 4. 11. 24 リーガロイヤルホテル大阪（大阪）

### ⑤総務部会

・第1回 … 4. 5. 19 建設業振興基金（東京・リモート会議併設）

・第2回 … 4. 9. 2 //

・第3回 … 4. 12. 6 //

・第4回 … 5. 3. 16 //

### ⑥国交省本省・地方整備局との意見交換会（全圧連出席分）

・近畿地整 … 4. 7. 4 シティプラザ大阪（大阪）

・九州地整 … 4. 7. 21 八仙閣（福岡）

・沖縄総合事務局 … 4. 7. 22 沖縄産業支援センター（那覇）

・東北地整 … 4. 7. 26 ホテル白萩（仙台）

・本省 … 4. 8. 3 ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京）

### ⑦日建連との技能レベル別最低賃金に関する意見交換会

… 4. 10. 11 東京建設会館（東京）

## 5) 日本建設機械工業会（建機工）

ポンプ車の安全対策に関する情報交換を行うとともに、登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会の委員・講師選出に協力を得るほか、圧送マニュアルや登録基幹技能者講習テキスト等、全圧連の刊行物へ掲載する技術情報の提供協力を得ている。

6) **建設荷役車両安全技術協会（建荷協）**

特自検有資格者の能力向上と資格取得 PR に協力するとともに、特定自主検査者の講師資格者の育成と各地での研修の充実を要望している。

7) **建設業振興基金**

建設産業活性化助成金を申請し、経営実態調査・「建設キャリアアップシステム」に関連した「専門工事企業の施工能力の見える化」の評価基準作成会議に活用するほか、「登録基幹技能者制度推進協議会」に参画し、登録基幹技能者の評価・活用に向けた活動に協力して取り組んでいる。また、「建設産業人材確保・育成推進協議会」に参画し、本年度より創設された「建設人材育成優良企業表彰」に候補企業を推薦している。

- ・登録基幹技能者制度推進協議会総会 … 4. 6. 17 ZOOMによるリモート会議
- ・建設産業人材確保・育成推進協議会 … 5. 3. 8 ZOOMによるリモート会議

8) **日本建設機械施工協会（建機協）**

建設機械施工の業界団体で構成する専門部会へ参画し、建設機械に関する税制改正要望を共同で行うほか、公共土木工事の発注価格の基礎となる「建設機械等損料表」のコンクリートポンプ関連機材の損料調査を受託している。

9) **富士教育訓練センター**

諸会議に参加。登録コンクリート圧送基幹技能者の登録講習への講師派遣に協力を得るほか、Web ラーニング教材である建設技能トレーニングプログラム（建トレ）に協力している。

- ・通常総会 … 4. 5. 25 お茶の水ソラシティ（東京）
- ・第1回事務局長会議 … 4. 10. 17 建設業振興基金（東京）
- ・第2回事務局長会議 … 5. 3. 23 日建学院池袋校（東京）

10) **勤労者退職金共済機構（勤退共）**

退職金共済制度（建退共）の周知、ホームページ等を活用した PR 活動への協力を行った。

- ・建退共制度 加入促進連絡会議 … 3. 10. 4 AP 東京八重洲（東京）

11) **建設技能人材機構（JAC）**

特定技能外国人受入れ事業を共同で行う同法人の正会員・監事団体として参加。ベトナムおよびインドネシアでのコンクリート圧送の業種紹介セミナーを実施するほか、特定技能外国人受入計画の申請、業種区分の再編に関する情報提供・説明会等の周知を行った。

- ・第5回総会（定時総会） … 4. 6. 1 ZOOMによるリモート会議
- ・第6回総会（臨時総会） … 4. 9. 27 ZOOMによるリモート会議
- ・第13回理事会 … 4. 9. 27 ZOOMによるリモート会議
- ・ベトナムでのコンクリート圧送業種紹介セミナー会議
  - 第1回 … 4. 4. 5 Google Meetによるリモート会議
  - 第2回 … 4. 4. 21 ”
  - 第3回 … 4. 5. 13 ”
  - 第4回 … 4. 7. 4 ”
  - 第5回 … 4. 7. 25 ”
- ・ベトナムでのコンクリート圧送業種紹介セミナー
  - … 4. 6. 29 都市建設短期大学内 アンズオングループ教育センター（ハノイ）
  - 現地育成講師2名による 14名参加

- ・特定技能コンクリート圧送国内試験 … 4. 9. 8 建設技能人材機構（東京）  
… 4. 11. 10 建設技能人材機構（東京）
- ・インドネシア人材セミナー … 4. 11. 2 建設技能人材機構（東京）
- ・インドネシアでのコンクリート圧送業種紹介セミナー  
… 5. 2. 23 ポリテクニジャカルタ（ジャカルタ）  
… 5. 2. 25 ムハマディアラン大学（東ジャワ・マラン）  
ZOOMによるリモート講演にて参加

12) **国際建設技能振興機構（FITS）**

建設業における外国人技能実習制度の実態と課題の共有を図り、実習制度の適切な運用の確保に向けた協議を行う「建設分野技能実習に関する事業協議会」の構成員として参加した。

- ・建設分野技能実習に関する事業協議会 … 5. 3. 23 Teamsによるリモート会議

令和4年度 講習会受講者内訳表(報告ベース)

令和5年3月31日現在

単協名	安全・技術講習会		安衛法に基づく特別教育				危険再認識教育 (旧・特別再教育)		足場の業務に係る 特別教育		フルハーネス 特別教育	
			会 員		会 員 外							
	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数
北海道			11	25			19	66	11	20	19	38
青 森	6	34										
秋 田	5	29	2	2			2	6	2	2	2	2
岩 手	6	68										
山 形	11	76	2	2					2	3	2	3
宮 城	15	132	5	5					4	5	4	5
福 島	15	139	4	10	2	4			5	11	4	11
茨 城	9	96	5	10	6	10						
栃 木	10	46	2	4							1	3
群 馬	9	142	6	22			1	3			7	28
埼 玉	17	167	7	9			5	16	4	6	5	7
千 葉	20	295	8	20	3	3			6	17	9	22
東 京	20	302	8	22	3	6			9	21		
神奈川	24	461	15	42	14	22					15	62
山 梨			8	27								
長 野	11	94	1	2					1	2	1	2
静 岡	13	78										
東 海	17	201					2	11				
富 山	3	35	1	1								
福 井												
近 畿	76	938	24	40			60	201	16	31	26	43
広 島	11	98	3	6			2	23	4	7	3	7
山 陰			3	7	19	52						
島 根	6	33			4	10						
山 口	4	42	2	5					3	7	3	8
高 知	14	134	3	15								
九 州	61	574	23	41	2	6	14	45	6	8	7	10
合 計	383	4,214	143	317	53	113	105	371	73	140	108	251

※前年同期 (394) (4,439) (116) (222) (31) (52) (211) (1,461) (63) (141) (69) (229)

## 令和4年度 福祉共済事業報告書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

1. 概況 令和5年3月31日現在 ( )内は令和4年3月31日

・加入単協数	21単協	(21単協)
・加入社数	161社	(174社)
・加入者数	1,137人	(1,279人)
・加入口数	2,207口	(2,405口)

2. 保険金給付状況 令和3年12月1日～令和4年11月30日

(1) 死亡・高度障害保険金	3件	8,000,000円
(2) 災害死亡給付金	0件	0円
(3) 入院給付金	3件	181,500円
(4) 障害給付金	0件	0円
合 計	6件	8,181,500円

3. 通院入院見舞金 令和4年4月1日～令和5年3月31日

11件 230,000円

4. 制度運営費(各単協宛還付金)

令和4年4月～6月	280,920円
令和4年7月～9月	277,160円
令和4年10月～12月	279,600円
令和5年1月～3月	280,280円
計	1,117,960円

5. 配当金 令和3年12月1日～令和4年11月30日

・年間掛金	21,893,597円
・配当金	6,357,789円
・配当率	29.0%

## 全圧連福祉共済加入状況表

令和5年3月1日時点

単協名	会員+単協計 (3/1時点) ※1	加入数			加入率(%)	目標口数※2	目標口数 達成率(%)
		社数	人数	口数			
北海道	34	4	29	37	11.8%	454	8.1%
青森	7	0	0	0	0.0%	40	0.0%
秋田	6	1	11	11	16.7%	30	36.7%
岩手	8	2	11	46	25.0%	67	68.7%
山形	13	12	106	107	92.3%	78	137.2%
宮城	17	5	48	173	29.4%	139	124.5%
福島	16	4	9	22	25.0%	139	15.8%
茨城	10	7	88	214	70.0%	96	222.9%
栃木	11	2	31	62	18.2%	46	134.8%
群馬	10	8	85	171	80.0%	142	120.4%
埼玉	20	6	54	59	30.0%	167	35.3%
千葉	22	4	12	19	18.2%	295	6.4%
東京	23	6	87	158	26.1%	302	52.3%
神奈川	25	9	110	347	36.0%	522	66.5%
山梨	7	0	0	0	0.0%	54	0.0%
長野	13	4	24	33	30.8%	93	35.5%
静岡	14	0	0	0	0.0%	78	0.0%
東海	21	19	177	215	90.5%	199	108.0%
富山	4	0	0	0	0.0%	35	0.0%
福井	4	0	0	0	0.0%	42	0.0%
近畿	78	34	88	120	43.6%	901	13.3%
広島	17	1	6	18	5.9%	98	18.4%
山陰	2	0	0	0	0.0%	10	0.0%
島根	8	6	23	70	75.0%	31	225.8%
山口	5	1	16	65	20.0%	44	147.7%
高知	15	1	12	12	6.7%	134	9.0%
九州	84	24	107	239	28.6%	777	30.8%
事務局	1	1	3	9	100.0%	9	100.0%
合計	495	161	1,137	2,207	32.5%	5,013	44.0%

※1 会員+単協計について

・会員事業所数+単協事務局の合計数を記載。

※2 目標口数の算出方法：

・前年度の安全・技術講習会の受講者数×1口

・安全・技術講習会の開催のない単協においては、保有ポンプ台数×2口